

アプリ運用ルール策定ガイド 基本機能編〈第2版〉

サイボウズ株式会社

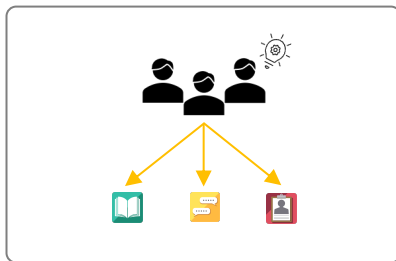


※この資料は2021年12月時点のkintoneを基に作成しております

当資料の作成背景と目的

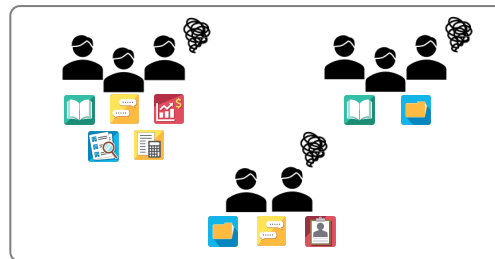
- kintoneは必要なアプリをマウス操作で作っていただけるノーコードプラットフォームです。
その特性を生かし、**業務に必要なシステムを業務担当者自身で作成していくことができます。**
一方で**kintoneを利用する部門や対応業務が多い場合は、メンテナンス性を保つためにkintoneを管理する部門を明確にし、運用ルールを整備する必要があります。**
- kintoneの運用ルールを策定する際の参考資料として考慮すべきポイントをまとめた資料になります。
- 主に**kintoneの管理部門の方向け**に作成しておりますので、**複数部門・複数業務でkintoneを利用する際**にご利用ください。

単一部門、単一業務で利用
(例：営業部10名でSFAとして利用)



利用部門、用途が限られているため、各人が自由にスペースやアプリを作成しても都度相談、確認しながら運用していけるため問題が起きにくい

複数部門、複数業務で利用
(例：営業部ではSFA、総務部では契約書管理、人事部では社員名簿や採用管理として利用)



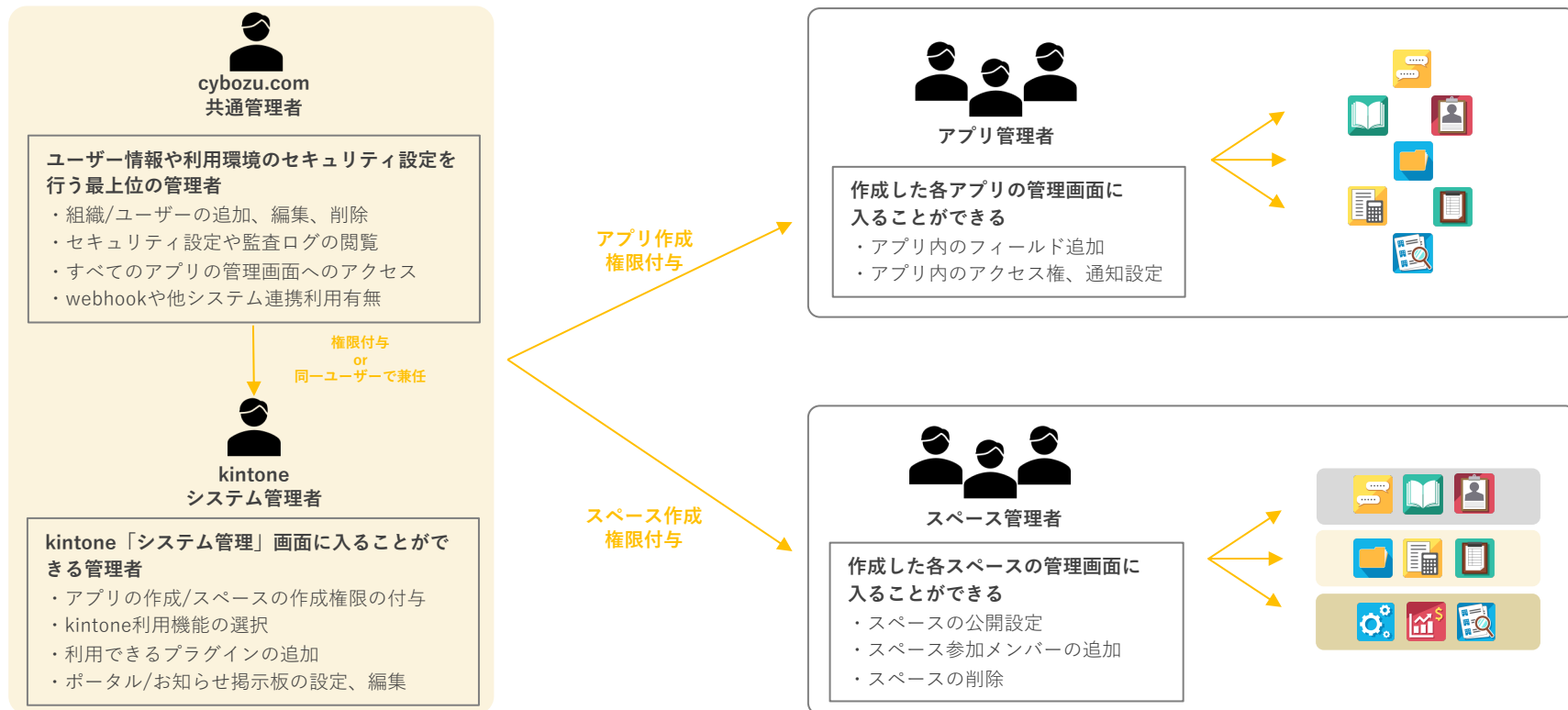
kintoneの全体像が把握しづらくなるため、各人が自由にスペースやアプリを作成していくとアプリの乱立などの問題が起きやすい

目次

- kintoneの管理者の種類 ————— 3
- kintoneの運用ルールの考え方 ————— 4
- アプリ運用ルール策定例 ————— 5
- アプリ運用ルール検討ステップ ————— 6
- まとめ ————— 15

kintoneの管理者の種類

kintoneには大きく4種類の管理者が存在します。運用ルールを整備する前に各管理者の影響範囲を確認します。



kintoneの運用ルールの方

業務担当者が自分でアプリを作成できるkintoneのメリットを活かしつつ、自社にあった運用ルールの強度を検討します。

統制が強い

利用部門が自由にアプリ作成できる



業務改善のスピード早い



アプリ作成や検証等にかかる
管理部門の工数が少ない



メンテナンス性が低く
アプリが乱立するリスクがある



データ閲覧権等のルールを徹底しにくい

運用ルールを作成し、利用部門の権限を絞る

利用部門の望むスピードでアプリを
展開することが難しい



アプリ作成や検証等
管理部門の工数がかかる



必要なアプリのみを運用でき
メンテナンス性が高い



データ閲覧権限等のルールを徹底できる



アプリ運用ルール策定例

統制が強い

サイボウズ

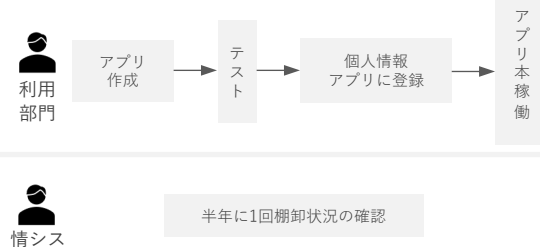
運用指針

- ・基本的には自由にアプリを作成できるようにしたい
- ・顧客等の個人情報に関しては社内規則に則って厳密に管理する必要がある

基本ルール

- ・アプリ作成権限はユーザー全員に付与
- ・個人情報を含むアプリに関しては情報責任者を明示し半年に1度棚卸を行う

フロー例



A社

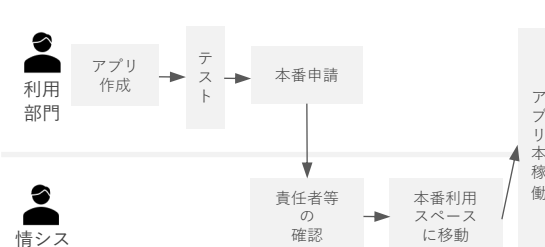
運用指針

- ・自分たちの業務改善は自分たちで行える状況を作る
- ・作成されたアプリがメンテされずに使われなくなる状況は作らない

基本ルール

- ・アプリ作成権限はユーザー全員に付与
- ・トライアルアプリと本番アプリは明確に分ける
- ・本運用する際には責任者を明示し、情シスに申請
- ・本番アプリは必ずスペースに所属させる

フロー例



B社

運用指針

- 一度入力したデータは二度と入力させないために、同じ項目を持つアプリは作りたくない

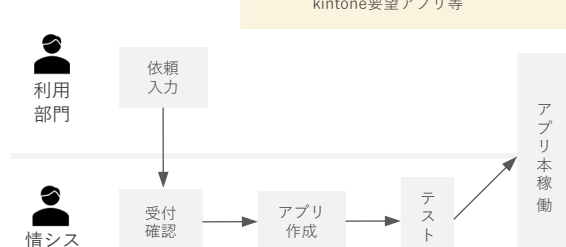
基本ルール

- アプリの作成権限を現場に渡さずシステム部門に権限をまとめる

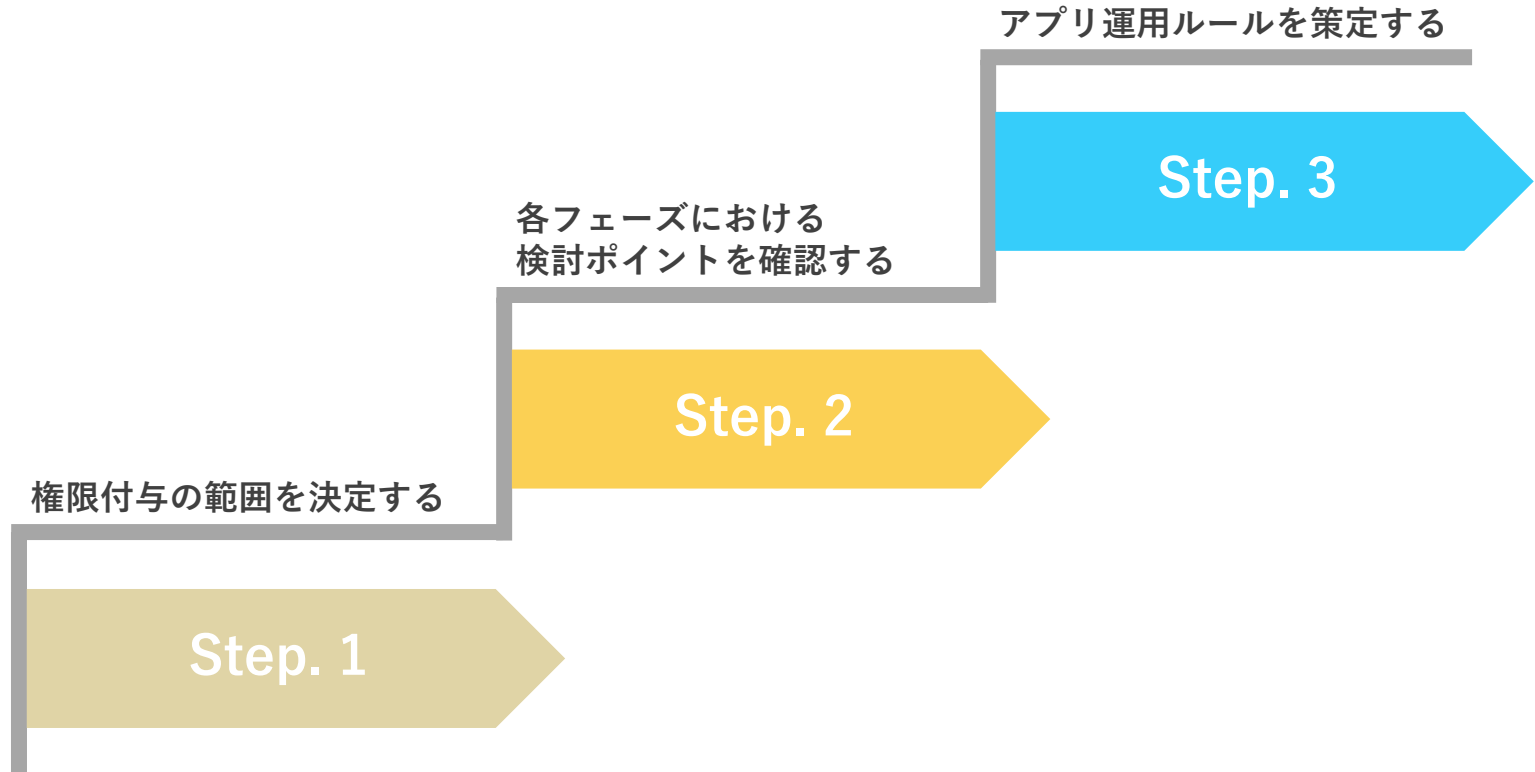
Point

現場に権限を付与しない場合でも、現場の要望を吸い上げ、システムに反映できる導線を用意することが重要！
(例) 新規アプリ作成依頼アプリ
kintone要望アプリ等

フロー例



アプリ運用ルール検討ステップ



Step. 1

権限付与の範囲を決定する

自由度とガバナンスのバランスを考慮しつつ、権限を付与する範囲を決めます。

選択した権限設定により想定される問題点は、各種ルールを定めることで回避しましょう（Step. 2, Step. 3）。

! Point

- アプリの作成権限を利用部門に付与するか
- スペースを利用するか、スペースの作成権限を利用部門に付与するか

各ポイントの詳細は次ページへ

補足：カスタマイズの許容範囲についても別途検討が必要

- 個別カスタマイズを許可するか
- プラグインを許可するか
- 連携サービスを利用するか

詳細については「拡張機能編」へ

ポイント① アプリ作成権限

● 利用部門に付与する

メリット

利用部門主導でスピーディに業務のシステム化ができる

デメリット

アプリの乱立やルールからの逸脱が懸念される

運用ルール例

- 利用部門が自由にアプリを作成できる
利用部門主導の業務改善やスピーディなシステム化を重視したい
- アプリ作成は許可するが、事前の申請 or 報告を求める
利用部門主導の業務改善を尊重しつつ、作成したアプリがルールに則っているかを確認したい
- 研修を受けた特定の担当者にのみアプリ作成権限を付与する
アプリの質を一定に保ちつつ、利用部門主導のアプリ作成も実現したい

● 管理部門に限定する

メリット

メンテナンス性が高く、ルールを重視した運用が可能

デメリット

業務改善のスピードが遅く、管理部門の負担も大きい

運用ルール例

- 利用部門の意見をもとに管理部門がアプリを作成するが、項目の内容、細かい設定、デザイン等は利用部門に任せる
アプリの質を一定に保ちたいが、利用部門での使いやすさも重視したい
- 管理部門が課題整理からアプリ作成まで全て行う
機密情報を取り扱う等の理由でガバナンスを重視するため、利用部門でのアプリ作成、アプリ変更を一切許可しない

ポイント② スペース利用と作成権限

スペース利用のメリット

- 部署、プロジェクト等のチームごとにアプリやスレッドを作成でき、スムーズな情報共有を実現できる
- アプリをスペースに所属させることで、管理者や利用者が明確になりメンテナンス性が向上する

● スペース作成権限を利用部門に付与

メリット

社内の様々なチームの情報共有を促進できる

デメリット

スペースの乱立やルールからの逸脱が懸念される

運用ルール例

- 利用部門が自由にスペースを作成できる
- 利用部門がスペースを作成するが、利用目的や参加メンバーを管理部門に報告する

● スペース作成権限を管理部門に限定

メリット

メンテナンス性が高く、ルールを重視した運用が可能

デメリット

チームごとの情報共有のスピードや効率が低下する

運用ルール例

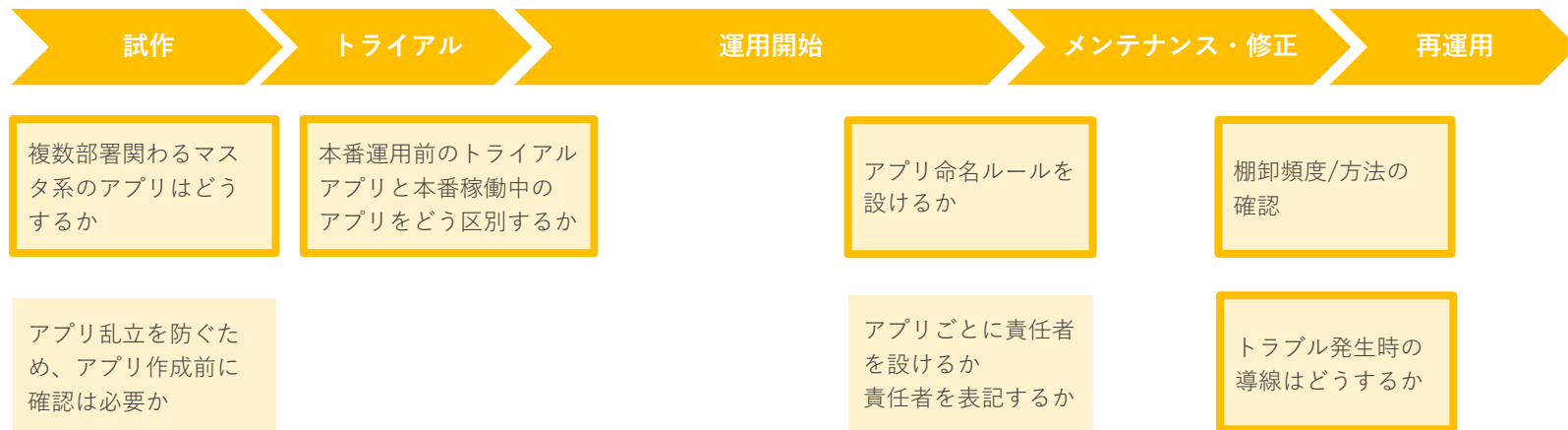
- 利用部門からの申請を受付け、管理部門が審査の上でスペースを作成する
- 各組織（部門や部署）にスペースを1つずつ与え、それ以外のスペース作成は行わない

Step. 2

各フェーズにおける検討ポイントを確認する

アプリ・スペース作成は「試作 ～ トライアル ～ 運用開始 ～ メンテナンス・修正 ～ 再運用」のフローで行われます。

運用ルールを作成するにあたって、最低限検討が必要なポイントを確認します。



太枠

の検討ポイントはkintone SIGNPOSTにてTipsをご紹介しますので、併せてご覧ください。

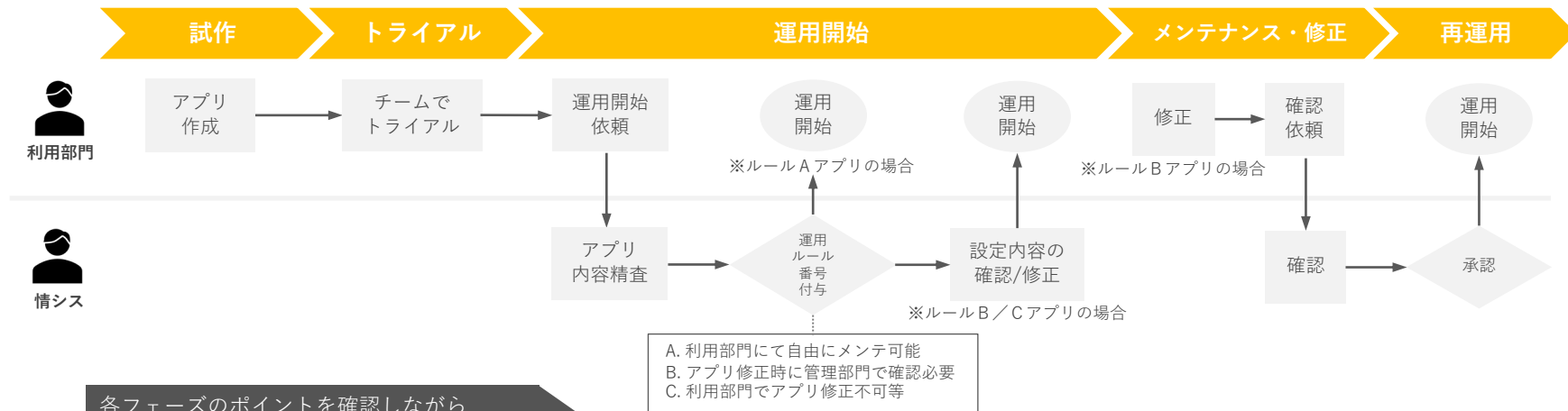


Step. 3

アプリ運用ルールを策定する

Step.1、2で確認したポイントを踏まえて、アプリ作成のフローとルールを整備します。

フロー設計例



各フェーズのポイントを確認しながら
フローを設計していく

例

- | | | | |
|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● トライアルアプリの作成は【試用中スペース】に限定する ● すべてのアプリは運用開始時に管理部門が確認する既存アプリと重複する場合は管理部門から利用部門に連絡 | <ul style="list-style-type: none"> ● 本番運用するには該当アプリのテンプレートを管理部門に渡すアプリ内容精査後、各部門のスペースにアプリを配置可能 ● アプリに格納するデータ別にメンテナンス、修正ルールを分ける | <ul style="list-style-type: none"> ● 本番アプリとして運用開始する際はアプリ名を【利用部門】●●アプリとする ● 各アプリのメモ欄にアプリ管理者名とアプリ概要を必ず表記する | <ul style="list-style-type: none"> ● 半期に一度棚卸を行う最終更新日が1年以上前のアプリについては利用状況をアプリ管理者に確認する ● トラブル発生時には管理部門依頼アプリへ登録 |
|---|---|--|---|

参考：アプリ管理で活用できる機能

システム管理者にてkintoneの各機能の利用状況を確認、出力可能

アプリ一覧

アプリ管理

アプリを作成する

アプリ管理

ライセンスの使用状況 アップグレード

	上限	使用中
アプリ数	1000	16
1アプリで1日に行えるAPIリクエスト数	10000	38
カスタマイズできるアプリ数	無制限	12

※「private」アプリグループに所属するアプリは除かれています。

アプリの一覧

表示するアプリ 管理権限のあるアプリ (すべて) 1 - 17 / 17件

ID	アプリ名	設定	アプリグループ	ステータス	レコードの最終更新日	レコード数	フィールド数	1日のAPIリクエスト数	カスタマイズ	作成者	作成日時	設定の最終更新者	設定の最終更新日時	
27	アプリ管理	設定	Public	運用中	2021-02-21	5	5	0	なし	田中 愛美	2020-12-11 15:44	加藤 大輔	2021-01-12 14:26	🗑
29	個人メモ	設定	Private	変更あり	2021-01-12	9	7	0	なし	加藤 大輔	2020-12-14 14:14	加藤 大輔	2021-01-12 14:26	🗑
28	予算管理	設定	Public	運用開始前	(データなし)	0	0	0	なし	加藤 大輔	2020-12-14 14:13	加藤 大輔	2021-01-12 14:25	🗑
10	顧客管理	設定	営業部	運用中	2021-01-12	20	11	0	なし	田中 愛美	2020-12-10 14:44	加藤 大輔	2021-01-12 14:25	🗑

https://jp.cybozu.help/k/ja/admin/app_admin/confirm_app_list.html

プラグイン一覧

プラグイン

プラグインのインストール/更新/削除/無効化/再インストール/再有効化

読み込んだプラグイン

プラグイン名	説明	現在使用中のアプリ
いいねプラグイン	アプリにいいね機能を表示します。	🔴 現在使用中のアプリ
kintone フィールド検索プラグイン	ユーザー、組織、グループ毎に検索フィールドを絞り込むことができます。	🔵 現在使用中のアプリ

https://jp.cybozu.help/k/ja/admin/add_plugin/confirm_plugin.html

スペース一覧

kintoneシステム管理

スペース管理

スペース管理

ライセンスの使用状況

	上限	使用中
スペース数	500	3
ゲストスペース数	500	1

アップグレード

スペースの一覧 CSV形式でダウンロード

1 - 4 / 4件

ID	スペース名	種別	管理者数/メンバー数	作成者	作成日時	設定の最終更新者	設定の最終更新日時	移行/退会
10	全体連絡	公開	2 / 3	田中 愛美	2020-08-26 14:47	田中 愛美	2020-08-27 17:30	退会
2	情報共有スペース	公開	3 / 3	田中 愛美	2020-08-26 14:48	田中 愛美	2020-08-27 17:30	退会
5	ゲストスペース	ゲスト	1 / 1	田中 愛美	2020-08-26 14:51	田中 愛美	2020-08-27 17:29	管理権として移行
3	テストスペース	非公開	1 / 1	田中 愛美	2020-08-26 14:44	田中 愛美	2020-08-27 17:17	管理権として移行

https://jp.cybozu.help/k/ja/admin/space_admin/manage_spaces.html

参考：アプリ管理で活用できる機能

各アプリ毎に運用ルールなどを記載するメモ欄保持

利用者向けメモ機能

国内立替代表

アプリ: 国内立替代表

アプリ管理者:

▼本アプリに対するフィードバックはこちらまで

...

<対象となる経費>

- ・サイボウズ社員が個人で立替えている
- かつ
- ・日本国内で使用した経費
- かつ
- ・交通費、カフェ代

<印刷要否>

- ・用途欄で「★」の付く用途が一つも含まれないレコードは印刷不要です
- それ以外は、上長承認後に、領収書と合わせて印刷して提出してください

立替者が自分

アプリ利用ユーザー向けにアプリ責任者や利用ルールを記載可能

https://jp.cybozu.help/k/ja/user/app_settings/app_generals.html

管理者向けメモ機能

アプリ管理者用メモ

【アプリの作成経緯】

- ・経理から依頼を受け、採用チーム用にも予算管理アプリを作成しました。
- ・入力項目と一覧の設定は「予算管理（人事部用）」を参考にしています。

【注意事項】

- ・「評価」フィールドは、社内の人事評価システムと連携するカスタマイズをしています。設定を変更する場合はシステムに再依頼が必要なので、人事の田中までご連絡ください。

アプリ管理者用メモは、アプリ作成の目的や設計のポイントなど、メモしておきたい情報を自由に書くことができる機能です。

※ アプリ管理権限のあるユーザーのみ閲覧できます。

編集する 閉じる

各アプリ管理画面内に用意
引き継ぎなどをスムーズにするための作成背景や注意事項
を記載可能

https://jp.cybozu.help/k/ja/user/app_settings/notes_for_app_administrators.html

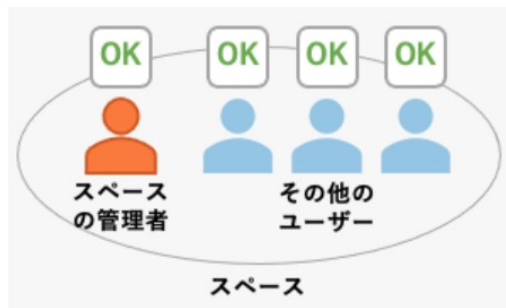
参考：アプリ管理で活用できる機能

各スペース内でアプリの作成者を制限することで、スペース内の統制をとりやすくすることができます。

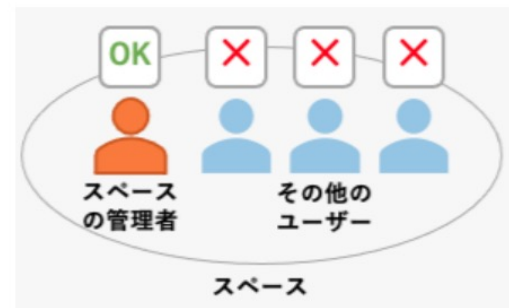
スペース内アプリの作成をユーザーごとに制限



設定が「オフ」の場合（従来同様、デフォルト）のアプリ作成可能なユーザー



設定が「オン」の場合のアプリ作成可能なユーザー



参考：アプリ管理で活用できる機能

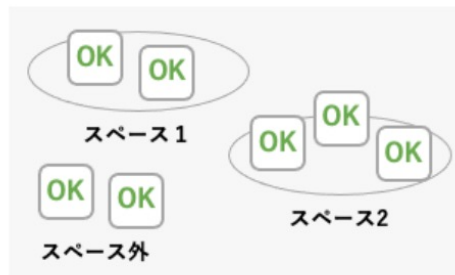
すべてのアプリをスペースに所属させることで、スペース単位でアプリの運用を検討しやすくなります。

スペースに所属しないアプリ作成を禁止

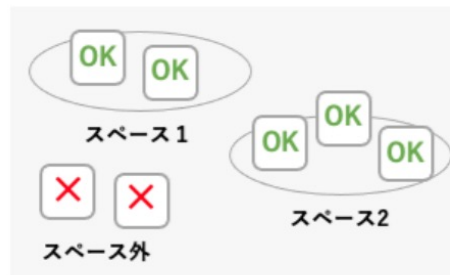
スペースとピープル

- ☒ スペース機能を利用する
- ☐ スペースに所属しないアプリの作成を許可する
- ☒ ゲストスペース機能を利用する
- ☒ ピープル機能とメッセージ機能を利用する

設定が「オン」の場合（従来同様、デフォルト）のアプリ作成可能な場所



設定が「オフ」の場合のアプリ作成可能な場所



参考：アプリ管理で活用できる機能

トライアルスペースから本番利用スペースに移動など、運用ルール策定においてスペースを活用する際便利な機能

アプリの所属スペースの変更

The screenshot displays the 'アプリ管理' (App Management) settings page. The '設定' (Settings) tab is active, showing a grid of configuration options. A modal dialog titled 'アプリの所属するスペースを変更' (Change the space the app belongs to) is open on the right. The dialog contains instructions to change the space, a search bar for spaces, and two radio buttons: '選択したスペースに変更' (Change to the selected space) and 'スペースへの所属を解除' (Remove from space). The 'Change to the selected space' option is selected. Below the dialog, the 'アプリの所属するスペースを変更' (Change the space the app belongs to) option is highlighted in the settings grid. An arrow points from this option to the dialog box.

アプリの所属するスペースを変更

アプリの所属するスペースを変更します（ヘルプ）。
変更先のスペースを検索し、選択してください。

☒ 選択したスペースに変更

☐ スペースへの所属を解除

※変更先として、ゲストスペースは選択できません。

キャンセル 変更

アプリの所属するスペースを変更

https://jp.cybozu.help/k/ja/user/app_settings/changespace_app_belongsto.html

参考：アプリ管理で活用できる機能

各ユーザーのログイン状況やアプリの作成、変更、削除などのログの閲覧/出力が可能

監査ログ

監査ログの閲覧とダウンロード

監査ログの内容やダウンロードについては、ヘルプを参照してください。ヘルプ：監査ログの設定
監査ログの日時は、システムのタイムゾーン(Asia/Tokyo)です。
6週間未満のログを閲覧、または10万件までダウンロードできます。
6週間以上前のログは「6週間以上前のログのダウンロード」でダウンロードできます。

絞り込み条件

この日時から 2020-05-01 00:00 この日時まで 2020-05-29 00:00

レベル ユーザー サービス
情報以上 で ...

モジュール アクション 結果

エラー番号 補足

閲覧 **ダウンロード** 6週間以上前のログのダウンロード

	レベル	日時	接続元	ユーザー	サービス	モジュール	アクション
	情報	2020-04-08 14:19:26	2001:7b:11:1:0:0:0:0	cybozu	kintone	App management	App delete
	情報	2020-04-08 10:50:07	2001:7b:11:1:0:0:0:0	cybozu	kintone	App management	App delete
	情報	2020-04-08 10:49:57	2001:7b:11:1:0:0:0:0	cybozu	kintone	App management	App delete
	情報	2020-04-08 10:49:19	2001:7b:11:1:0:0:0:0	cybozu	kintone	App management	App delete

https://jp.cybozu.help/k/ja/admin/other/audit_logs.html

まとめ

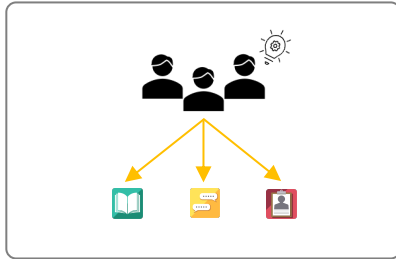
kintoneは必要なアプリをマウス操作で作っていただけるノーコードプラットフォームです。

その特性を生かし、**業務に必要なシステムを業務担当者自身で作成していくことができます。**

一方で**kintoneを利用する部門や対応業務が多い場合は、メンテナンス性を保つためにkintoneを管理する部門を明確にし、運用ルールを整備する必要があります。**

単一部門、単一業務で利用

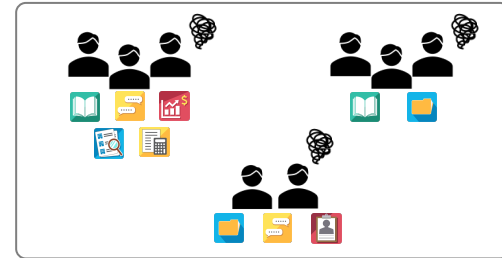
(例：営業部10名でSFAとして利用)



利用部門、用途が限られているため、各人が自由にスペースやアプリを作成しても都度相談、確認しながら運用していけるため問題が起きにくい

複数部門、複数業務で利用

(例：営業部ではSFA、総務部では契約書管理、人事部では社員名簿や採用管理として利用)



kintoneの全体像が把握しづらくなるため、各人が自由にスペースやアプリを作成していくとアプリの乱立などの問題が起きやすい

- ・利用用途の分からないアプリが乱立
- ・使われていないアプリがある
- ・大切なデータがいつの間にか削除されていた 等